

内閣総理大臣 野田佳彦様
防衛大臣 一川保夫様
元沖縄防衛局長 田中聡様

沖縄防衛局長の発言に抗し沖縄尊重を求める声明

この度の沖縄防衛局長、田中聡氏による人権感覚を欠いた発言に大いなる憂いをもって抗議の意を表します。報道によれば、米軍普天間飛行場代替施設建設の環境影響評価（アセスメント）「評価書」の年内提出を明言しない防衛大臣の姿勢をめぐり、記者からの質問に対して田中氏は「これから犯しますよと言いますか」と発言したと伝えられています。防衛大臣が本人から直接話を聞いた上で「弁解の余地はないと判断」早急に田中氏の更迭が発表されました。

問題となっている発言は、沖縄県知事である仲井真弘多氏が「口が汚れる」とコメントを拒んでおられたように聞くに耐えないものです。田中氏は、以前にも那覇防衛施設局に勤務した経緯もあり、沖縄での性的被害の実態を知らなかったとは考え難く、敗戦後66年にわたり在日米軍が駐留している沖縄で起こり続けてきた暴力に、どれ程多くの女性や子ども達が沈黙を強いられてきたかは周知の通りです。沖縄に仕えるべき人が、蔑視とも取れる発言をし、とりわけ沖縄の人々を深く傷つけたことに対して誠実な謝罪を求めます。

また、これらは田中氏だけの問題ではなく、基地政策に関わる人々の中にも沖縄に対する軽視及び差別意識が日常的に存在したのではないかが問われる事柄です。田中氏の更迭や野党からの批判に応じた「謝罪」で問題の幕引を計るのではなく、根本的な省みが必要なのです。一川防衛大臣や野田総理大臣は自分の立場を守ることや米国優先に走らず、今一度立ち止まって長年我慢を強いられてきた沖縄の人々の思いに寄り添い、尊重の念を持って事柄にあたって頂きたいと心から願います。

最後に、今回も浮き彫りになったように基地の存在それ自体が沖縄を翻弄し続けているのであり、安心して暮らせる環境整備が急務なのです。私達も更に沖縄と連帯する活動を目指し歩んで参ります。

2011年12月2日

日本バプテスト連盟 性差別問題特別委員会